

平成 30 年度 乳幼児教育振興特別事業
全幼研ワクワクプロジェクト（沖縄支部） 報告書

「学ぼう島の文化、伝えよう子どもたちに」

提出日 平成 31 年 1 月 21 日

支部長名 池田 哲子

○ 実施日 平成 31 年 1 月 20 日（日）
時間 9 時 00 分～ 14 時 00 分

○ 共催 なし

○ 会場 バス借り切りにて史跡、昔ばなし発祥の地を巡る。

○ 参加者 26名+講師 計27名

○ 講師 所属・職名 石垣市博物館学芸員

名前 寄川 和彦 氏

○ 内容

「学ぼう島の文化 伝えよう子どもたちに

～史跡・昔ばなし発祥の地巡り～」

本宮良の主の御嶽（オンナー）、桃林寺仁王像（県指定文化財・彫刻）、権現堂（国指定重要文化財・建造物）、仲道の三番アコウ（市指定記念物・史跡）など 26 カ所を巡った。それぞれの史跡について解説書を作成し、見聞を深めた。

一例を挙げると次のようなものである。

<本宮良の主の御嶽（オンナー）>

本宮良間切の頭職だった石垣永将をまつた御嶽です。



石垣永将は 1624 年、スペイン船でフィリピンから来島した宣教師ルエダと親しくなり、当時禁止されていたキリスト教を信仰した疑いをかけられ、財産没収のうえ火刑にされたといわれています。オンナーは、永将が火刑されたと伝えられる場所で、そこに小さな祠が建てられました。また、永将は渡名喜島に流罪された後、1635 年薩摩藩の命令により同島で火刑されたという記録もあります。

<ティラ石と赤口>

大浦山の中腹に、ティラ石と呼ばれる大きな岩がそそり立っています。1864年に石垣島各村の風水検分を行った久米村の風水師によると、そのティラ石が伊原間村に災いをもたらしているとされ、ティラ石から村を守るために、赤口と呼ばれる獅子の像をティラ石に向けて立てたところ、災いがなくなったと伝えられています。



〇まとめ（成果と課題）

子ども達に先人の残した文化を伝えていくことは、子ども達と関わる大人の使命であり、子ども達と多くの時間を一緒に過ごす保育士の役割でもあると思う。

この大切な島の文化を伝えるためには、まず、保育士自身が「知る」ことが大切だが、日ごろの生活の中で自分で学ぶ機会は少ない。今回ワクワクプロジェクトで「史跡・昔ばなしの発祥地巡り」を企画し、実践し、多くの学びを参加者と一緒に出来たことは、今後保育士自身が自分の住んでいる地域を誇りに思い、それを、子ども達に伝えていく一歩につながることを感じた研修であった。

また、全幼研という組織があり、幼児教育の資質の向上のため、会員が研鑽していることを知ってもらう機会にもなった。今後、一緒に学び合える仲間の輪を広げ、幼児教育の資質の向上に努めていきたい。

